

目指せ！！学生満足度 120%

D班 第3グループ
チーム名:昭和時代

目次

- 現状の課題
- 満足度を上げるには
- グループ化の結果
- 教育面
- 制度面・設備面
- 社会を意識した取り組み
- まとめ

現状の課題

- 中退率が増加している
- 留年生が増加している
- 愛校心が低い
- 学生の覇気が無い
- 不本意入学者が増加している

満足度が低いのでは？

満足度を上げるには

- 新しいキャンパス
- 学食充実
- 蔵書の充実
- 学生寮の確保
- 奨学金の充実
- 大学の楽しい思い出
- 表彰制度
- スタッフ対応
- 大学内の安全性
- キレイなキャンパス
- 人気科目を作る
- 自大学を知る機会を作る
- イメージアップ
- イベントをする(学生全体が参加)
- 資格を取れる
- 就職出来る
- やりたいことが出来る
- 学生の声を反映させる

教育面

対策

具体例

ニーズの把握

アンケートによる学生
ニーズの吸い上げ
科目の創設

職員能力の向上

自学を知るセミナー
教職員研修

愛校心の醸成

自学を知るセミナー
学生→授業（早稲田を知る）

制度面・設備面

対策

具体例

経済的負担の軽減

奨学金
表彰制度（K大学）

教育環境の充実

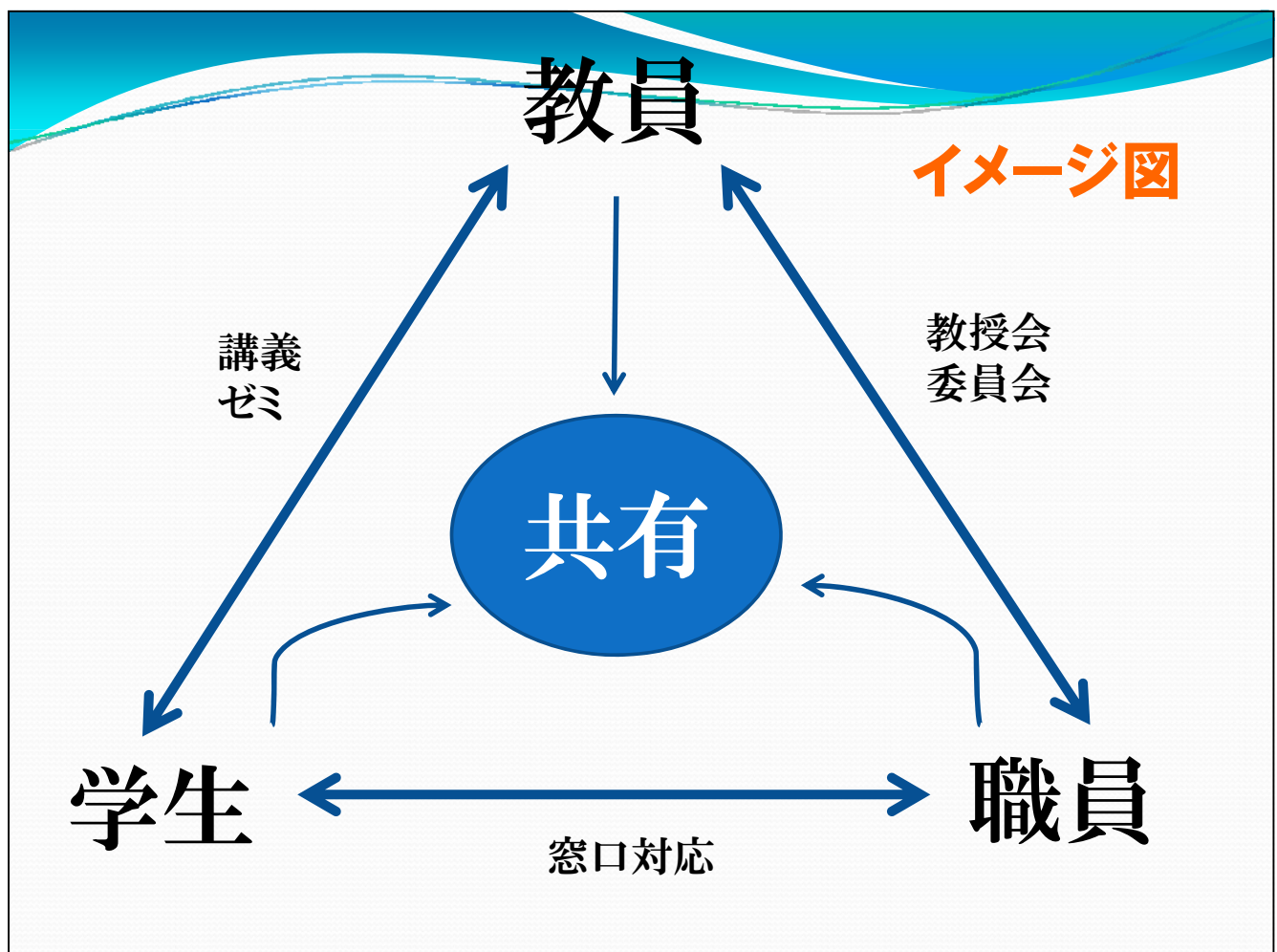
学食改善
新キャンパスの設置
国際寮の設置

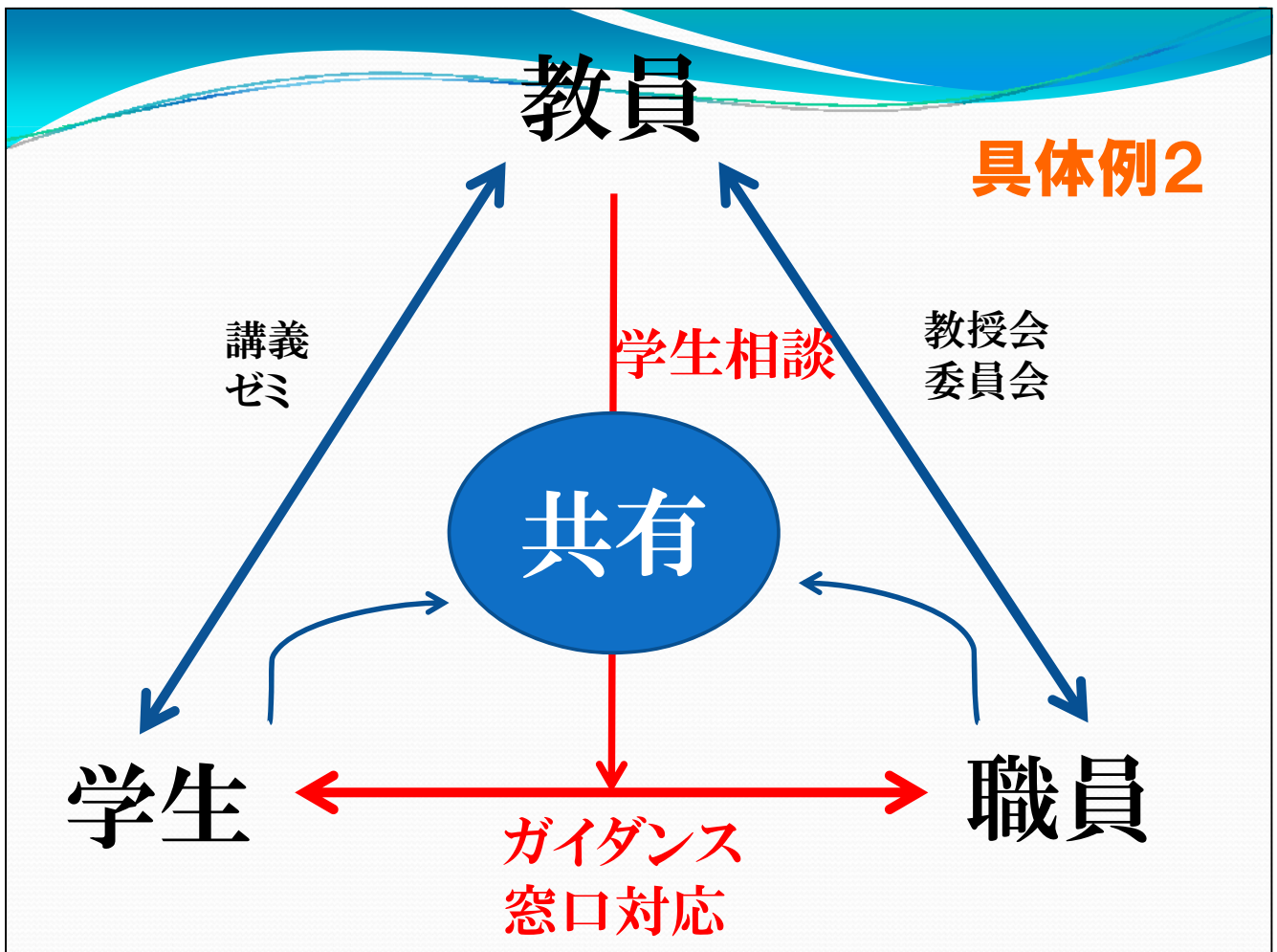
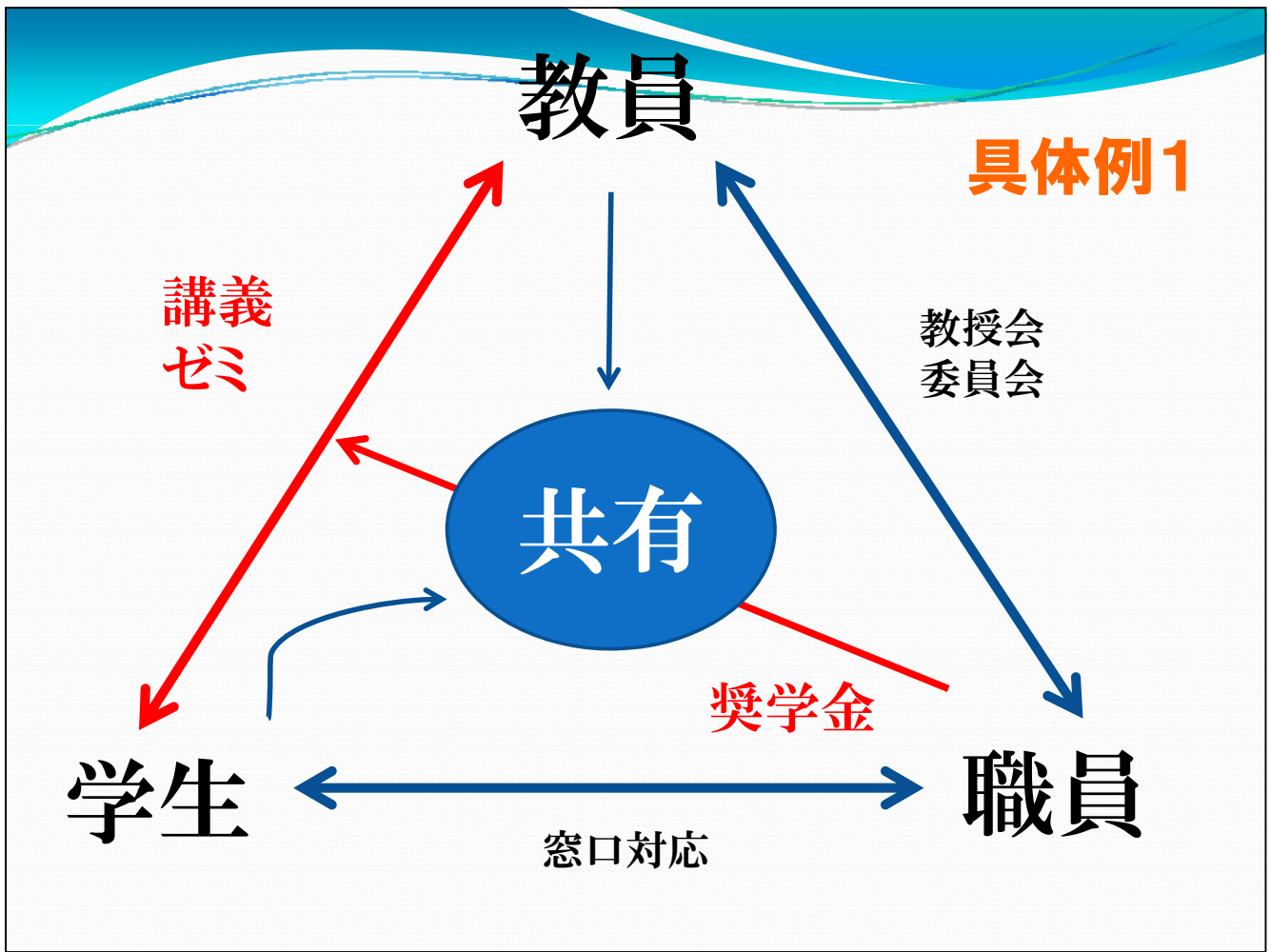
これらを踏まえたうえで重要な事

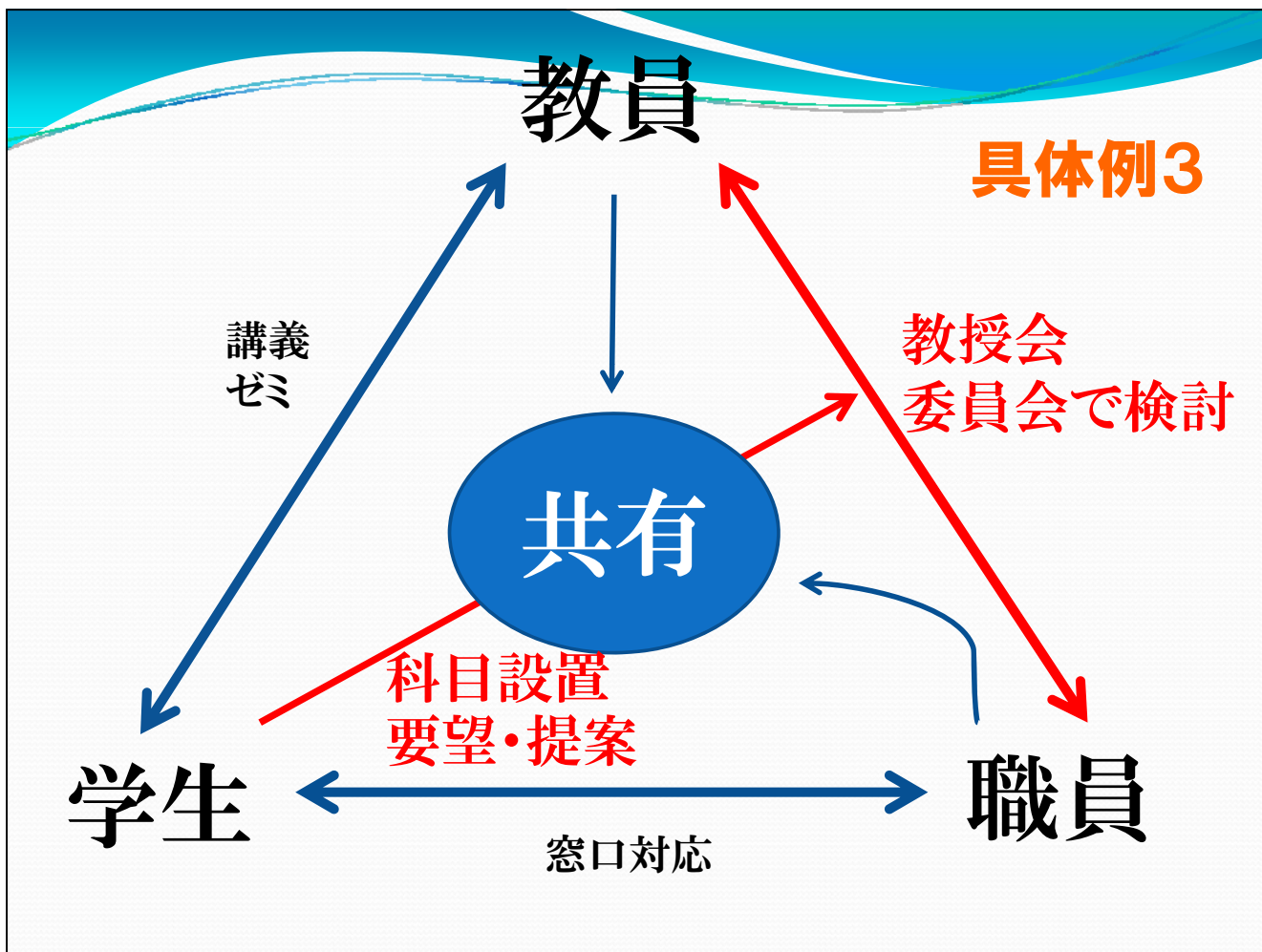
○情報の共有化

○学生・教員・職員を巻き込んだ動き

この二つを図で表すと・・・







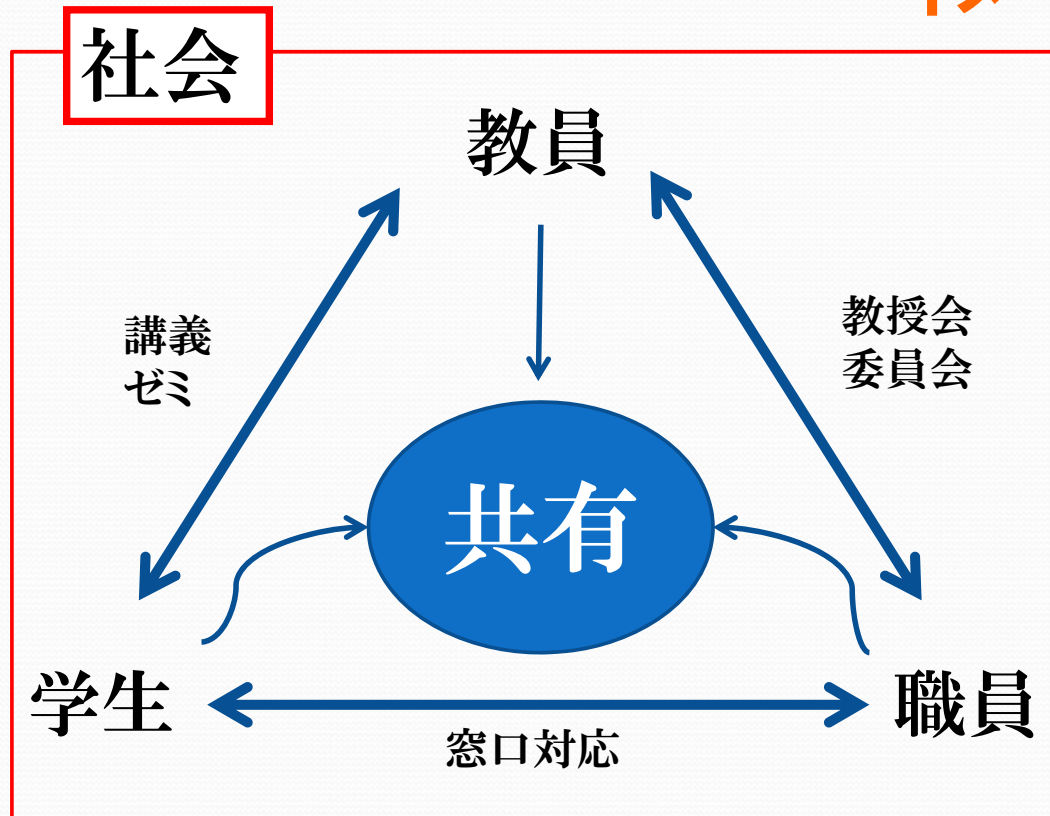
○情報の共有化

○学生・教員・職員を巻き込んだ動き

この二つは出来るようになるかもしれないが……

- 大学と社会との繋がりの欠如
学内で完結？社会との隔絶
- 学生の達成感の不足
教職員の達成感はあるが
学生の達成感は？

学生満足度120%にはならない！



社会を意識した取り組み

- 実務家による講義を増やす
安藤忠雄の講演(S大学)
公共政策の最前線(C大学)
- 学生の主体性を伸ばす制度作り
アクティブ・プログラム(K大学)
やる気応援奨学金(C大学)
ボランティア活動を単位認定(H大学)

まとめ

私たち職員に出来る事

前例にとらわれる事なく、社会・時代のニーズに合った人材の輩出を常に意識して行動し続ける



学生満足度120%